

「土曜日の残業代払っていないケース多い」

コロナ禍の労務トラブルテーマに石原氏講演

「トラブルの一番の原因は コミュニケーション不足」

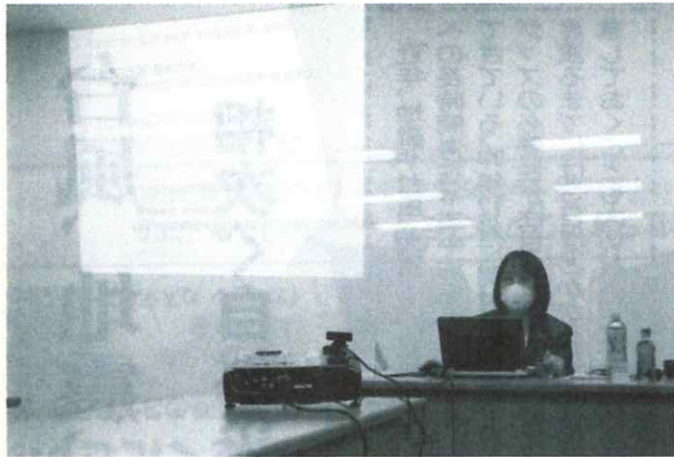
大阪府トラック協会
の北大阪支部と中央支
部は2月17日、大阪府
トラック総合会館で2
支部合同労務問題研
修会を開催し、「コ
ロナ禍における労務
トラブルとその対策
並びに働き方改革
関連法」をテーマ
に、運送業に特化
し労務管理支援や
就業規則の作成・見
直しなどを行うオ
フィスキよみの石
原清美氏(特定社
会保険労務士)が
講演を行った。

満があったドライバー
からの苦情が増えてい
る」と指摘。
その上で、「賃金の減
少により未払い残業代
を請求されることがあ
るが、それを防ぐには、
会社が正しい時間管理
をすることが最も重
要。特に多いのが、変
形労働時間制を採用し
ていない場合の土曜
日の出勤時間について
『土曜日は出勤日だ
から残業代を払わな
くてよ』と誤解してい
るケース。月曜日から
金曜日まで1日8時
間勤務した時点で、
週40時間を超えな
らば、土曜日の出勤
時間については、
会社側が唯一の理由
として、解雇を考
える経営者もいるが、
解雇は想像以上に大
変で誰を解雇するか
など、様々な理由が
必要。会社が唯一の
理由として、解雇を
考える経営者もいる
が、解雇は想像以上
に大変で誰を解雇
するかなど、様々な
理由が必要。会社
が唯一の理由として、
解雇を考える経営
者もいるが、解雇は
想像以上に大変で
誰を解雇するかな
ど、様々な理由が
必要。

「自分の頑張り認め
てほしい」とにかく
話を聞いてほしい」と
思っている。実際に
ドライバーと真剣に
向き合っていた。

うことでトラブルを
解決できた事例は非
常に多い」と述べた。
さらに、「このような
労務問題で注意すべ
き点はある。解雇は
避けたい。問題が起
きるとすぐに解雇を
考える経営者もいる
が、解雇は想像以上
に大変で誰を解雇
するかなど、様々な
理由が必要。会社
が唯一の理由として、
解雇を考える経営
者もいるが、解雇は
想像以上に大変で
誰を解雇するかな
ど、様々な理由が
必要。

石原氏はまず、「コ
ロナ禍で仕事が減
った会社は多く、残
業が少なくなったこ
とに伴う賃金の減
少や、会社になら
ない場合の土曜日の
出勤時間について『
土曜日は出勤日だ
から残業代を払わ
なくてよ』と誤解
しているケース。月
曜日から金曜日まで
1日8時間勤務した
時点で、週40時間
を超えれば、土曜
日の出勤時間につ
いては、会社側が
唯一の理由として、
解雇を考える経営
者もいるが、解雇
は想像以上に大変
で誰を解雇するか
など、様々な理由
が必要。



石原氏の講演の様子

2021年(令和3年)3月15日号

物流新時代